

目次

I. 総括研究報告

腸管粘膜バリア破綻条件下での高分子化合物の
経口暴露による毒性影響の解明 ----- 1

松下幸平

II. 分担研究報告

1. ラットを用いたDSS誘発持続的腸炎のための予備試験 ----- 5

松下幸平、井手鉄哉
(Figure 1-5, Table 1, 2)

2. スチレンを含むナノマテリアルの毒性に関する情報収集 ----- 10

井手鉄哉、松下幸平

III. 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 13